

# 令和元年度 山口県学力定着状況確認問題の結果について 【中学校】

下松市教育委員会

結果の公表に  
あたって

令和元年度「山口県学力定着状況確認問題」（令和元年10月23日を基準日として実施）の結果についてお知らせします。

本調査は、小学校4～6年生と中学校1、2年生を対象として、国語、算数・数学（小学校5年生は社会・理科、中学校2年生は社会・理科・英語も実施）の学力の状況や児童生徒の生活習慣、学習環境の状況を調査し、県内すべての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施しました。

今回の結果をもとにして、本市におきましても、学校と家庭・地域が連携・協働し、一体となった取組を推進してまいります。

教科に関する  
問題の結果に  
ついて

- 【国語】 1年生・2年生ともに県平均正答率を上回っている。
- 【数学】 1年生・2年生ともに県平均正答率を上回っている。
- 【社会】 県平均正答率を上回っている。
- 【理科】 県平均正答率をやや下回っている。
- 【英語】 県平均正答率を大きく上回っている。



→ どの教科も、県平均正答率を上回るか、同程度の結果です。一方で、記述式問題（考えを書く、理由や方法を説明する等）は正答率が低く、一定の成果は見られるものの引き続いての課題といえます。授業等で各教科に応じて、考えたことを分かりやすく表現する力の育成を図る必要があります。

◎（市平均正答率の高かった問題） ▲（市平均正答率の低かった問題）

## 国語

- ◎ 文脈に即して正しく漢字を読むこと（1年）
- ◎ 歴史的仮名遣いを、現代仮名遣いに直すこと（2年）
- ▲ 表現の意図を理解して説明すること（2年）



## 数学

- ◎ 分数の減法や乗法の計算ができること（1年、2年）
- ◎ 連立方程式を解くこと（2年）
- ▲ 反比例の関係を式に表わすこと（2年）



## 社会

- ◎ 人々の暮らしと気温図を関連付けて選択すること
- ◎ 太閤検地と刀狩を兵農分離と関連付けて理解していること
- ▲ 鎌倉時代の主な争いについて理解していること



## 理科

- ◎ 2種類以上の原子が組み合わさってできている物質が化合物であることを理解し、化学式を見て単体か化合物かを判別すること
- ▲ グラフから物質の密度を読み取る方法を説明すること



## 英語

- ◎ 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること
- ◎ まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解すること
- ▲ 聞いて把握した内容について、適切に応じること



課題の見られた問題例

国語 表現の意図を理解して説明する問題 【2年】

【話し合いの一部】の□AでBさんは、「いつしか二人は仲よしになっていました。」という表現と「いつしか二人は仲よしになってしまいました。」という表現との違いを説明しようとしています。あなたなら、どのように説明しますか。「を予想させる」とつながるように、七字以内（句読点も文字数に含む）で書きなさい。

※ 県平均正答率と同程度の、10%台の正答率でした。

数学 反比例の関係を式に表わす問題 【2年】

次の図は、「おにぎり弁当」のレンジの出力と温め時間の目安を表示したものです。

レンジの出力 (W)	温め時間の目安
500	2分00秒
1500	40秒

Yさんは、1000Wの出力に対する温め時間の目安について次のように考えました。

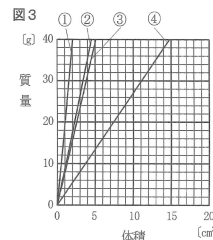
【Yさんの考え】  
温め時間の目安は、レンジの出力に反比例すると考えると、1000Wの出力で温めるのに必要な時間の目安を求めることができる。

「おにぎり弁当」をxWの出力で温めるときに必要な温め時間の目安をy秒とする。【Yさんの考え】を使って、xとyの関係を式で表しなさい。

※ 県平均正答率を下回り、10%台の正答率でした。

理科 グラフから物質の密度を読み取る方法を説明する問題 【2年】

図3は、物体の体積と質量の関係を表すグラフである。この物体Aをつくっている物質は、このグラフの④で表される。このとき①～③のようなグラフで表される物質と④で表される物質の密度の違いを、「密度」「体積」の語句を用いて説明しなさい。



※ 県平均正答率を下回り、10%台の正答率でした。

★ 学 校

- 学校の組織的取組の強化  
(教科・学年の枠を超えた研修の推進、学力向上プランの見直し・改善等)
- 児童生徒の「学習力」の向上をめざす授業改善  
(「キラリくだまつ授業づくり」の活用、誤答分析を生かした授業改善等)
- 校内研修の活性化と指導の充実  
(「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業や研修の充実、「やまぐち学習支援プログラム」や「ジャンプアッププリント」の活用、個に応じた補充学習等)

★ 家庭・地域

- 学習・生活習慣の確立  
(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)
- コミュニティ・スクールを生かした学習支援  
(地域の人材を活用した授業や取組等)

★ 下松市教育委員会

- 「キラリくだまつ授業づくり」の実践事例の紹介
- 課題と考えられる状況等の情報提供
- 学校訪問等による指導・助言
- 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりに関する指導・助言
- 下松市学習指導実践研究校の指定
- 下松市教育研究所における実践研究とその普及